北海道北見支援学校
コミュニティ・スクールたより

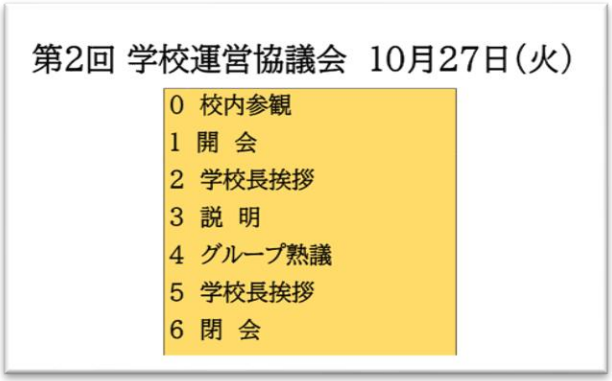
～第２号～
令和８年 10 月 30 日（金）
北海道北見支援学校
学校運営協議会事務局

本校のコミュニティ・スクール（CS）は、令和５年度より導入され、今年度で４年目を迎えます。今年度も、コミュニティ・スクールの機能を活用しながら活動をすすめていきます。

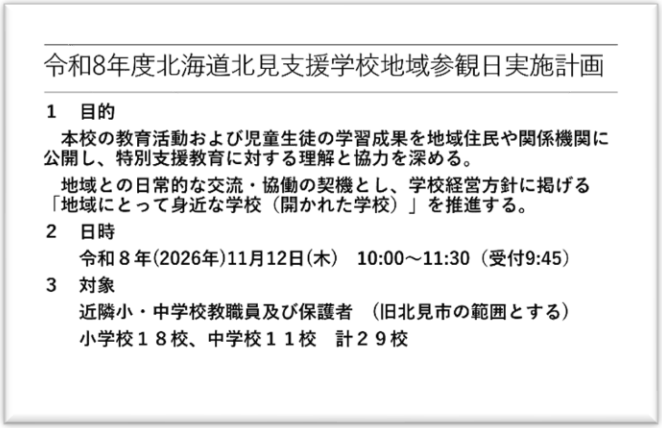
コミュニティ・スクールとは、学校と保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。コミュニティ・スクールには保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりするといった取り組みが行われます。これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させていきます。学校運営協議会は、今年度３回の活動を予定しております。このコミュニティ・スクールたよりを通じて、活動の様子をお伝えしていきます。

■　校内参観

まず、校内の授業を参観いただきました。現在、本校では、11 月上旬に学習発表会を控えていることもあり、特別時間割が組まれています。そのため、発表練習を学年や学部でまとまって行っている様子や、各教室で国語や算数の学習の様子の参観となりました。どの学習においても子どもたちは、真剣に取り組んでいました。小学部、中学部、高等部と順に参観したこともあり、学年や学部が上がるにつれて、落ち着いて学ぶ姿への移り変わりを感じられました。







■　第２回学校運営協議会

授業参観後、会議をスタートしました。本日の内容は、総務部より「①地域参観日」、総合生活部より「②本校の安全教育」、教頭より「③「働きがい」あり「働きやすい」職場を目指して」というテーマのもと委員の皆様に説明後、熟議に入りました。

＜①地域参観日＞（総務部　中村教諭）

「学校見学会」という名称で、以前実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の対策以来、そのまま実施がなされていませんでした。そこで今年度、学校経営方針に則り、実施することとなりました。本校への来校者は、自家用車によることが大半のため、来校者（駐車台数）を確認しながら検討していく必要があります。以前の学校見学会のときは、来校者人数が多い年度もあり、２日日程のときもあったため、今年度の参加状況によって検討していくと説明がありました。

熟議では、「地域との連携は大事にしていっていただきたい。今後、様々な職種や会社とつながりをもっていけるように地域発信したら良い」「駐車場の課題であれば、川東の里として駐車場の確保について協力していきたい」「未就学児の保護者にとっては実際に見に行けるいい機会だと思うので、広げていってほしい」「それぞれのニーズに合わせた参観日があればよい。自由参観だと遠慮して教室に入っていけない方もいるのではないか」と

のお話しがあり、案内者を立てるとなると人手が必要となるため、今年度様子を見ながら今後検討していきます。

（１）危機管理マニュアルについて
（２）本校の防災に関わる取り組みについて

	生徒と教職員	教員のみ
春休み		児童生徒捜索訓練①
Ⅰ学期	火災避難訓練	児童生徒捜索訓練②
夏休み		不審者対策訓練 保護者引き渡し訓練①
2学期	Ⅰ日防災学習 （水害避難訓練）	
冬休み		保護者引き渡し訓練②
３学期	地震火災避難訓練	

＜②本校の安全教育＞（総合生活部　林教諭）

本校で作成している危機管理マニュアルや、防災教育について説明しました。今年度、水害に関するマニュアルを追加し、そのマニュアルに則り、水害を想定した避難訓練を初めて実施しました。水害の際の指定避難場所は、「川東の里」様の体育館であることを確認し、川東の里様のご協力の下、全校生徒が避難体験を行うことができました。また、地震や火災、不審者対応、さらにけがやてんかん発作、アレルギー対応、クマ出没に関するマニュアルについても紹介しました。

熟議では、「学校は学校で安全確保することも大切であり、地域にも協力してほしいことを明確にし、協力を求めても良いのではないか」「計画だけでなく現在実施していること、ハザードマップをもとに作成しているのはとてもよい」「状況に応じて、保護者が迎えに来ない方が安全な場合もあると思う」「研修の際、エピペン練習キットが必要であれば、貸すことができる」「雪上の避難訓練は実施しているか（→しています）」などお話しいただきました。

＜③「働きがい」あり「働きやすい」職場を目指して＞（教頭山田）

本校では、子どもたちが「自立し、社会参加するための教育を目指し」ています。この学校教育目標達成のため、教職員全体で指導・支援を行っています。「働きがいがあり、働きやすい職場」となることはとても重要なことであり、それは子どもたちにとって充実した教育につながっていくと考えています。

まず、本校職員の勤務の超過時間について説明しました。現在学校では、出退勤管理システムを活用して、出勤時間と退勤時間を毎日計測、記録し、毎月道教委へ報告しています。超過時間の実態把握、業務量の適切な管理を行い、過重労働状況を把握し、健康障害の防止に努めています。毎月、超過時間が月 45 時間以上の職員を教育委員会へ報告しています。本校の現状としては、年度初めや行事前は超過の職員が増え、夏季休業中や冬季休業期間は定時退勤が進んでいます。次に、本校職員からの意見を集約した、本校の良いところと課題について共有しました。本校の課題についての解決策を教職員の意見を集めていますが、まだまだ意見が少ないことが現状としてあることを説明しました。

「働きがい」「働きやすい」職場を目指して

学校教育目標
「一人一人の児童生徒が自立し、社会参加するための教育を目指す」

☆教職員にとって「働きがいがあり働きやすい職場」となれば子どもたちにとって、充実した学びにつながっていく！

良いところを生かして
課題の対策を
考えています

みなさまの職場では、どんな職場づくりをしていますか？

熟議では、「離職につながらない職場をと考えている。学校の子どもたちに安心して学習を行う環境づくりに似ている」「人材不足は課題。ワークライフバランスもそれぞれであり、家庭を大切にと考える社員もいる」「働きがいがある職場だと感じられることが大事」「超過勤務軽減については、目標の数値が明確化されると組織として取り組むことができる」「計画的に業務に取り組むよう、事前に定時に帰る時間を明確にしていくとよい」などの意見をいただくことができました。

●――●――●――●――●●――●――●――●――●●――●――●――●――●●――●――●

■今後について

今回は、委員の皆様の参加可能日の調整がうまくいかず申し訳ございませんでした。そしてお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。今回も、委員の皆様のお話を伺い、課題をさらに深め改善するヒントをいただくことができました。次回は、次年度の学校経営方針について、そして熟議を行う予定です。実りある熟議ができたらと思っています。第３回目は、令和９年３月１日（月）～５日（金）のうち、委員の皆様の最も参加いただける日程を調整し、設定いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。